

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立岬高等学校
(准)校長名	中村 公一

開催日時	令和4年5月20日(金)15:00～16:15
開催場所	大阪府立岬高等学校 会議室
出席者(委員)	保井太郎会長、島崎英夫副会長、田中繁樹委員、尾保手崇委員、齋藤緑委員
出席者(学校)	中村公一 校長、小幡和子 事務長、中原浩育 教頭、橋本公貴 教頭 首席2名、教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、教育相談委員長、人権教育推進委員長、パスファインダー・通級主担当、学年主任2名、初任者2名
傍聴者	なし
協議資料	令和4年度大阪府立岬高等学校第1回学校運営協議会実施要項
備考	

議題等(次第順)

①学校長挨拶 ②学校運営協議会実施要項について ③学校運営協議会委員の紹介

学校運営協議会 会長・会長代理の選出

2.【連絡及び報告】

①学校長より報告

令和3年度学校経営計画及び評価について

令和4年度学校経営計画について

②各部事業報告の確認

3.【協議事項】

①令和4年度学校経営計画について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

1.【はじめに】

① 学校長挨拶

「昨年、集合開催が出来なかったが、開催することができてよかったです。モデル校立ち上げに向けて試行錯誤をしているところです。貴重なご意見をよろしくお願いします。」

② 学校運営協議会実施要項について

教頭から説明。

③ 学校運営協議会委員の紹介

教頭から紹介。

学校運営協議会 会長・会長代理の選出

会長:保井様、副会長:島崎様に決定いたしました。

2.【連絡及び報告】

① 学校長より報告

令和3年度学校経営計画及び評価について

【学校教育自己診断の結果と分析を受けて】

・部活動参加生徒の少なさ。

・生徒にどんな力をつけたいのかを明確に

・地域との交流が少ない。

【令和3年度の取組内容及び自己評価】

中期的目標1:エンパワメントスクールの充実

学習活動の充実については達成していると思われる。

2(2):特別活動の充実

国際交流以外は達成。

2(3)ア:キャリア教育の充実

もっと生徒に寄り添った指導が必要。

2(3)イ:人権教育の指導

教職員の指導の意図が正しく生徒に伝わらないこともあった。

2(4):インクルーシブ教育に向けた取組みの充実

個別の教育支援計画は100%作成。

2(5):通級指導教室の充実

通級指導が始まって3年。良い結果にむかっている。42期の進路結果によって成果が明確になる。

3イ:働き方改革の推進

人材育成と管理について時間外勤務の職員が多い。なかなか成果があらわれない。

4 : 地域連携と広報活動

地域連携について感染対策でなかなか難しいが、放課後デイの子どもたちと交流することができた。

② 各部の事業報告

○教務部

昨年度は一昨年度より転退学者が多い。月別、学年別の転退学者数を見ると、3月が一番多い。令和4年度の入学者選抜について、学力検査点数が一定以上の者の中から、自己申告書・調査書所見・面接により定員の50%までを合格とし、残りの定員までを学力検査、面接、調査書により合格とした。特別入学者選抜の志願状況については、定員210名の内、志願者107名、合格者106名、志願者倍率0.51倍という結果だった。2次選抜の志願状況については、定員104名の内、志願者2名、合格者2名という結果だった。今年度から観点別学習状況の評価導入にあたり、生徒への説明方法等を検討する。また学期ごとの補習や、仮進級者追認指導、年度末の追認指導などの成績不振者へのフォローを充実させ、欠点者数の減少をめざす。

○進路指導部

昨年度は進学35.2%、就職54.3%、その他10.5%という結果だった。進学について41期は専門学校にAO入試での入学が多い。就職について41期は求人をお願いしている企業は減っているもののコロナ禍以前に戻りつつある。職種については、技能職への就職が多い。多かった関西空港関連への企業からの求人は減ったが今年度から増加見込み。在校生徒からはアパレル業やホテルサービス業への希望が多いが、求人については、なかなか厳しいものがある。キャリア教育コーディネーター2名と連携して、生徒に寄り添いながら適性に応じた進路指導をしていく。

○生徒指導部

身だしなみ指導、休み時間の校内立ち番は引き続き実施。

SNSの正しい使用方法や危険性に関して、line株式会社へ講演を検討している。また泉南警察による非行防止教室も実施予定である。

進捗状況について…立ち番による校内巡回によって喫煙が大幅に減っている。また、教職員側からすると立ち番を行うことで、生徒同士の関係性が見られたり、教職員と生徒とのコミュニケーションにつながったりする。ここから挙げられた、生徒情報を日々共有し、連携して生徒指導に取り組んでいる。

○パスファインダー

少人数クラスについて…今年度は1クラスのみ。昨年度と違い、今年度からは高等学校長が通級への入級を決定する。通級指導について…生徒は良い結果が表れている。

○その他(教頭より)

- 1.生徒の多様性への対応から「ともに学び、ともに育つ」多様な教育実践モデル校(仮称)となる。
- 2.家庭科同好会と信濃路とのコラボメニューを実施(令和4年3月7日～4月7日)
- 3.ピリカ部の活動:海岸清掃ボランティア活動を中心としている。先日はJ.COMの取材も受ける。8月上旬には、岬町多奈川で鉄道交流会を実施予定。

○質疑応答

Q.10名が就職・進学先未決定となったのはなぜか。

A. 昨年度の10名は、即就職ではなくアルバイトをして自分探しをしたいという生徒がいたため。進路先未定の生徒のための既者の就職斡旋も行っている。今年度は全員が進路先を決定するようにしたい。

3.【協議事項】

○委員よりいただいたご意見

・部活動が盛んではないように見受けられるが、異学年交流をはじめ様々な経験ができるため、部活動が活発になってほしい。

→1年生の加入率は2、3年生よりも高く、サッカー部やバスケットボール部の活動が活発になってきている。

・岬高校の環境を生かし、運動をはじめ様々な活動をすべき。体験活動を行うことで様々な問題が起きる可能性もあるが、それを経験することも成長につながる。

・部活動や学校の活動についてより広報活動をしてほしい。(学校内でも保護者に向けても)

委員の皆様から、貴重なご意見やアイデアをたくさんいただきました。ありがとうございました。

次回の会議日程

日時

令和4年10月5日(水) 15:00～

会場

大阪府立岬高等学校 会議室